

# ホツケミズムシ

## カメムシ目ミズムシ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 準絶滅危惧

*Hesperocorixa distanti hokkensis* (Matsumura)

### 選定理由

局所的に分布するうえ、生息環境が開発や都市化によって消失し、減少傾向が著しい。県内でも生息が確認された場所は数箇所、個体数が少ない。

### 形態

体長9.5~10.8mmの大型のミズムシ類。体型は細長く扁平な短円筒形で、翅端は狭く丸まる。体は淡青黄色で背面には多数の黒色横条斑を装う。前肢は短く捕獲脚となる。中肢は細長く末端に細長い2本の爪を備える。後肢は脛節、跗節が扁平で長い毛を密生した遊泳脚となる。

### 国内分布

本州（山形県以南）、淡路島、四国、九州に局所的に分布する。

### 県内分布

羽咋市、旧能登島町、輪島市、旧柳田村、珠洲市。

### 生態

3月頃に水草の茎に産卵、発生し、6月頃に新成虫が出現する。成虫はやや深さのある池などに移動し、灯火に飛来することもある。他の小動物を捕らえて体液を吸収するとともに、珪藻などの植物を摂食するとされる。成虫は、水辺の枯れ草、落ち葉、石の下で越冬する。

### 生息地の条件

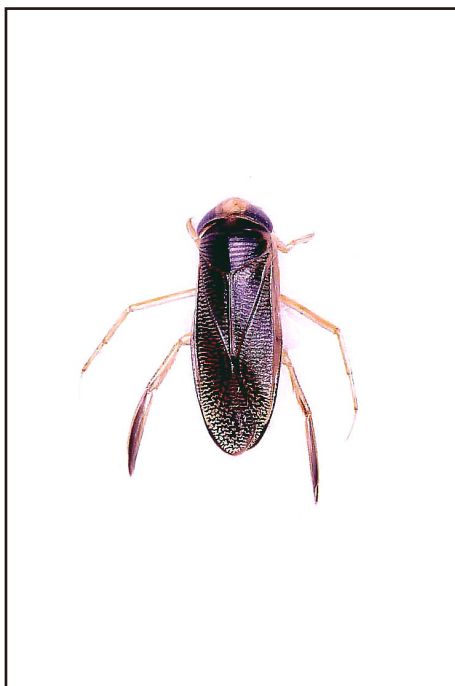
平野部~丘陵部のヒシやジュンサイなどの植生の豊富な池沼、湿地、緩やかな流れの水路。

### 生存の危機

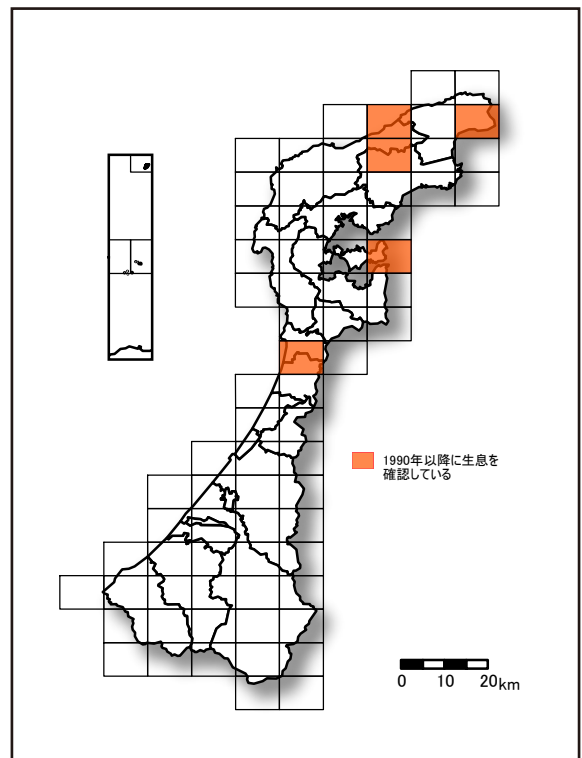
ため池、湿地などの開発や埋め立てによる消失、水質汚染、ため池の管理放棄、外来種の侵入が脅威となっている。羽咋市の生息地は埋め立てにより面積が減少した。珠洲市では、オオクチバスによる本種の捕食が確認されており、また、生息地の上流部の大規模な道路建設の影響が懸念される。ため池群の維持、河川周辺の遊水地の再生とともに、周辺の里山環境の維持が保全上重要である。  
(A, B, C)

### 参考文献

Dodson VE. 1975. Life Histories of Three Species of Corixidae (Hemiptera: Heteroptera) from Western Colorado. *American Midland Naturalist*, 94 (2):257-266.  
林 正美・宮本正一 2005. 半翅目. 川合禎次・谷田一三(編), 日本産水生昆虫. 東海大学出版会.



標本提供者: 富沢章



県内の分布